

# Export of Cosmetics

## 化粧品 の 輸 出

令和3年1月21日  
大阪税関

2020（令和2）年の化粧品の輸出は **全国及び近畿圏で過去最高！**

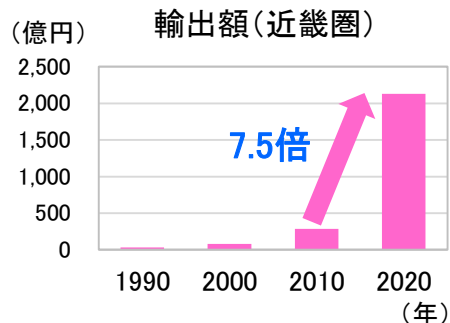
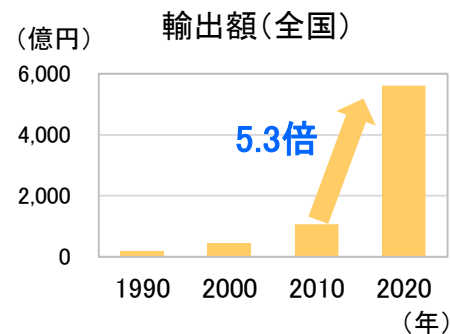
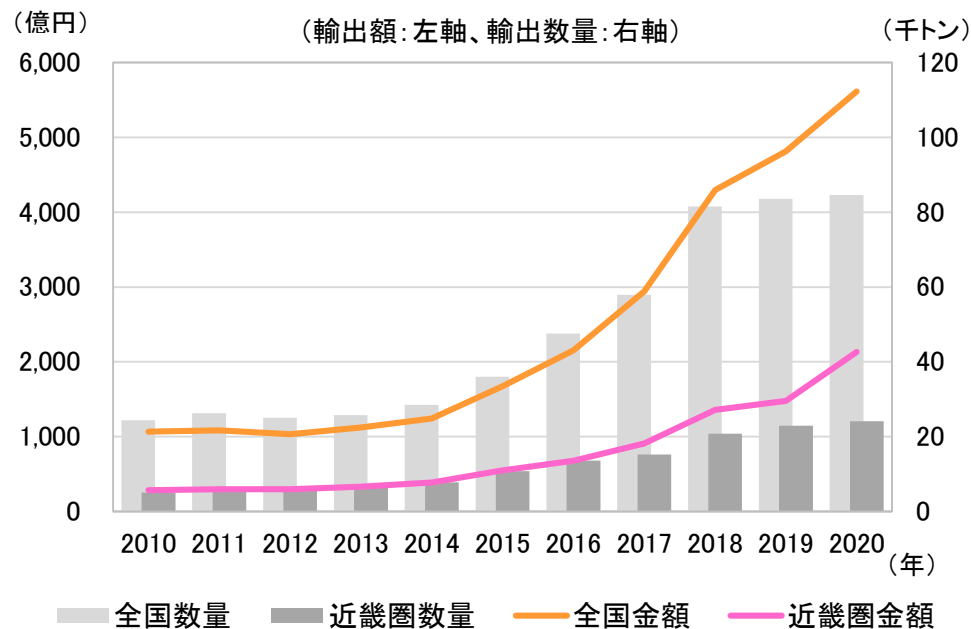
2020年の化粧品の**全国の輸出額は5,615億円（前年比16.6%増）**となり8年連続で過去最高を更新、**輸出数量は84,631トン（同1.3%増）**となり7年連続で過去最高を更新しました。

また、**近畿圏の輸出額は2,132億円（同44.4%増）**となり8年連続で過去最高を更新、**輸出数量は24,129トン（同5.1%増）**となり、**11年連続で過去最高を更新**しました。

2010年以降は特に中国及び香港向けの輸出増が大きく寄与し、2020年と2010年の輸出額の比較では5.3倍（近畿圏は7.5倍）にまで拡大しています。

今回は2020年のコロナ禍をものともせず、過去最高の輸出額（量）となった化粧品の輸出について特集しました。

### 化粧品の輸出推移



○本特集における化粧品は、輸出統計品目表の第33.04項(美容用、メーキャップ用又は皮膚の手入れ用の調製品(日焼け止め用又は日焼け用の調製品を含むものとし、医薬品を除く。)及びマニキュア用又はペディキュア用の調製品)に分類されるものを合計したものです。

(輸出統計品目表:第33.04項)  
3304.10 唇のメーキャップ用  
3304.20 眼のメーキャップ用  
3304.30 マニキュア用又はペディキュア用  
3304.91 パウダー(固形にしたものを含む。)  
3304.99-100 化粧下  
3304.99-200 その他のクリーム  
3304.99-900 その他のもの

○過去最高は1988年以降のデータを比較したものです。

○令和2年(2020年)分は速報値、同年1-11月分は確報値、令和元年(2019年)以前は確定値です。

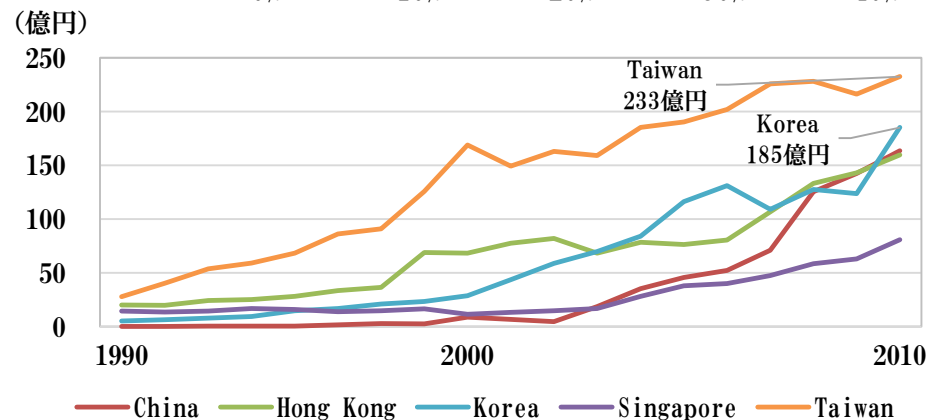
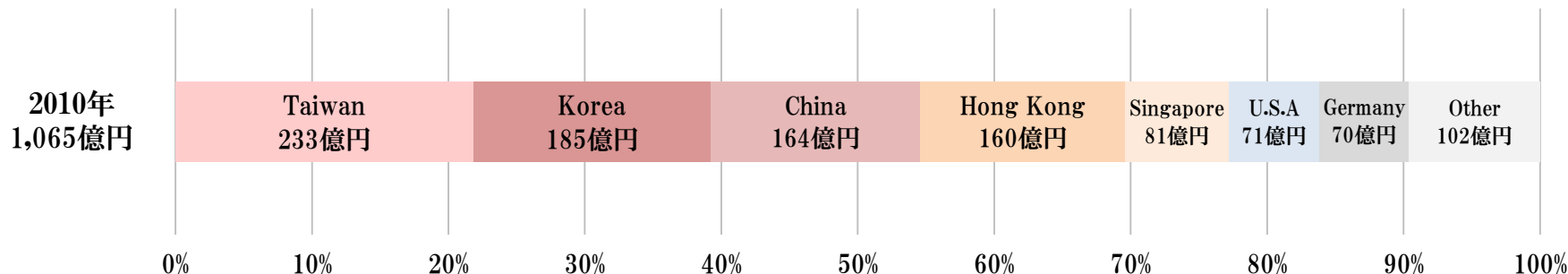
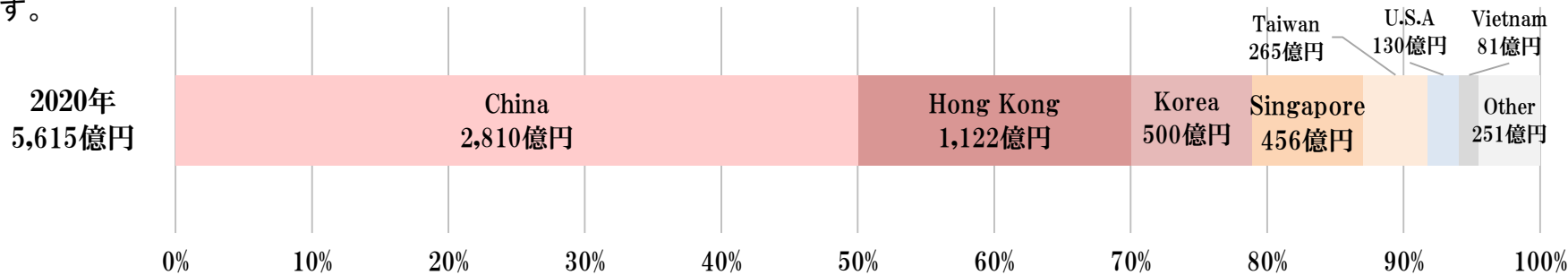
○近畿圏は大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県

○首都圏は東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

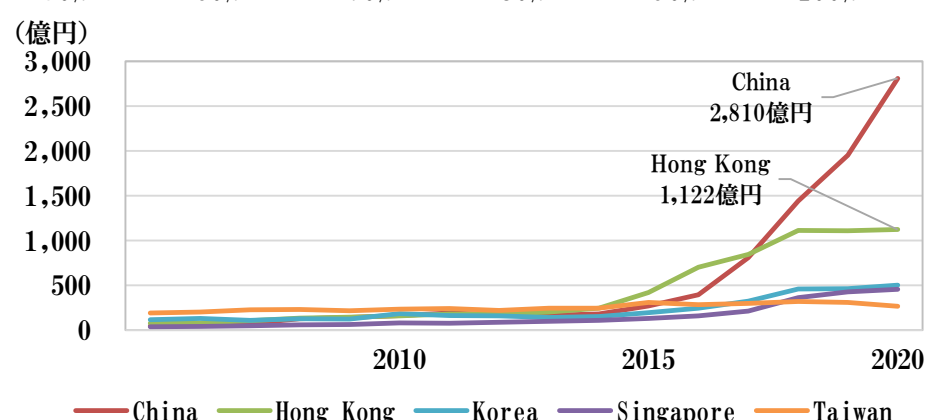
# 仕向地別輸出額（全国）

2010年の仕向地別の輸出額は台湾が233億円、韓国が185億円で中国は3位、香港は4位でした。しかし2015年に香港が台湾を抜き、2018年にはその香港を中国が抜き、2020年は[中国及び香港を併せた輸出額のシェアはおよそ7割](#)となりました。

業界によると、中国を中心として日本の化粧品の認知度が向上しており、トラベルリテール事業（旅行者を対象とした小売事業）による販売増を背景に輸出が増加してきたとのことです。また、直近の2020年について中国向けに関してはコロナ禍で落ち込んだ需要に回復が見られており、独身の日（光棍節）での売り上げが伸びるなど、Eコマースによる販売が好調とのことです。



(1990年～2010年)

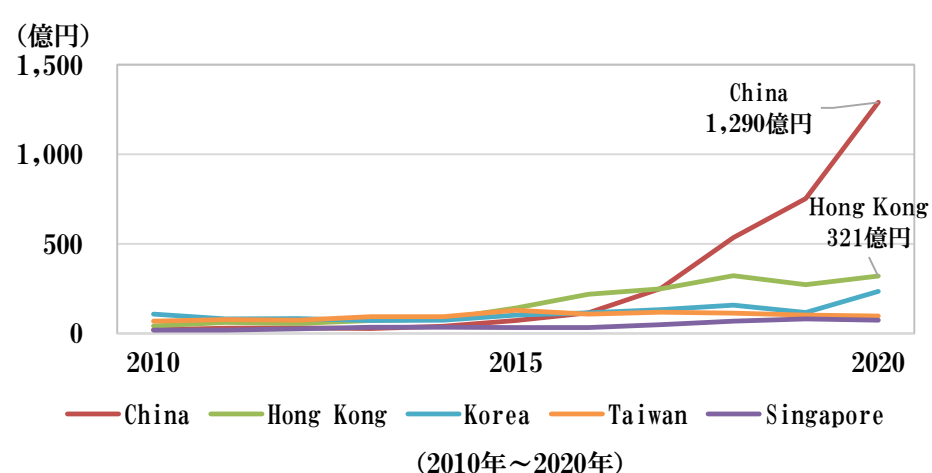
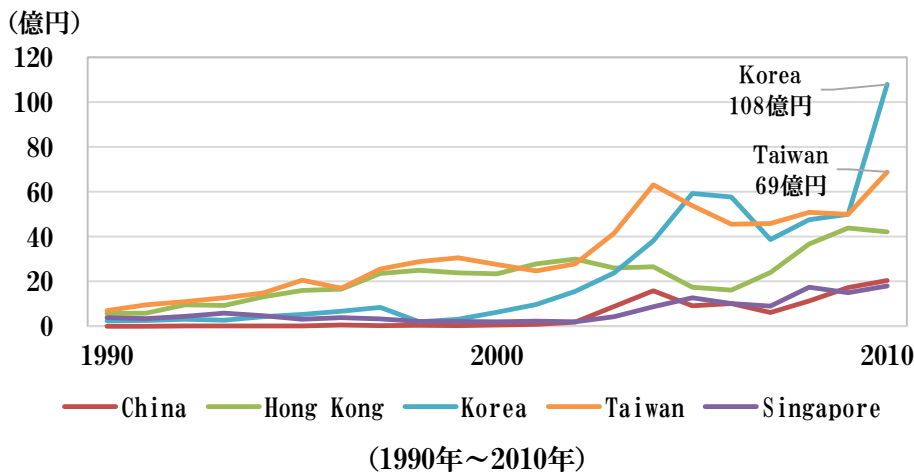
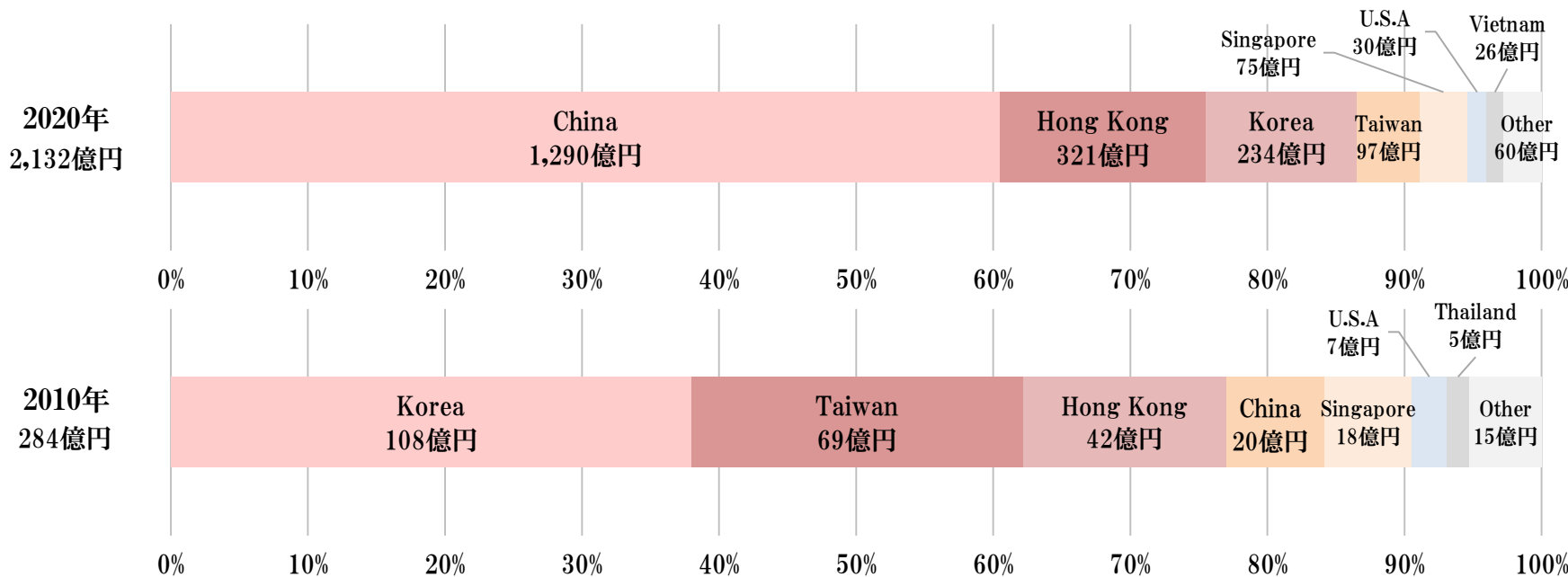


(2010年～2020年)

# 仕向地別輸出額（近畿圏）

2010年は韓国向けのシェアが大きかったですが、2015年以降に香港・中国向けが大きく伸びました。

2020年の中国向け輸出額は近畿圏からの輸出の約6割を占めており、2020年に近畿圏の輸出額が大きく伸びたのは中国向けの増加が大きく寄与しています。業界によると近畿圏内の工場で生産する製品の需要が高まった傾向があるのではないかとのことです。



## 2020年コロナ禍の影響

右のグラフは全国の輸出額の前年同月比（伸率）の推移です。

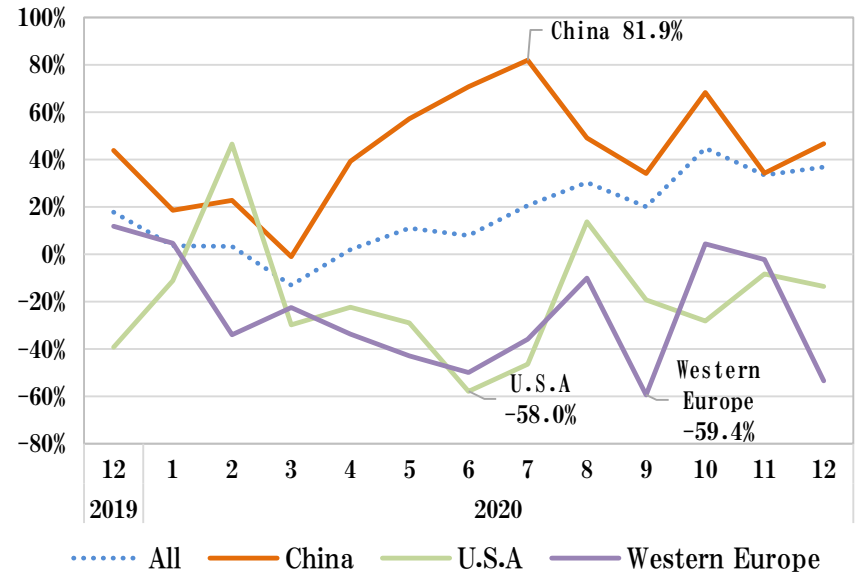
2020年の新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、2020年3月の輸出額は前年同月比で減少となりました。しかし、同年4月には中国向けが大きく増加、同年7月には中国向けの輸出が月として最高の296億円（前年同月比81.9%増）となり、その後も増加が継続しました。

業界によると、中国における化粧品の需要は持ち直してきており、店頭販売からEコマースへのシフトも進んでいるそうです。また、中国国内の免税店向け（海南島や華南エリアの中国内の観光地向け）の輸出も急増しているとのこと。

一方、アメリカ向けと西欧向けは前年を大きく下回る月が続いており、2020年8月にはアメリカ向け、2020年10月には西欧向けが前年の同じ時期と比べて増加に転じ回復の兆しもうかがえますが、業界によると、第2波・第3波の影響（ロックダウンなど）及び一部店舗の倒産などの影響を受けているとのこと。

## 中国、アメリカ及び西欧の輸出額伸率推移（全国）

※伸率は対前年同月伸率



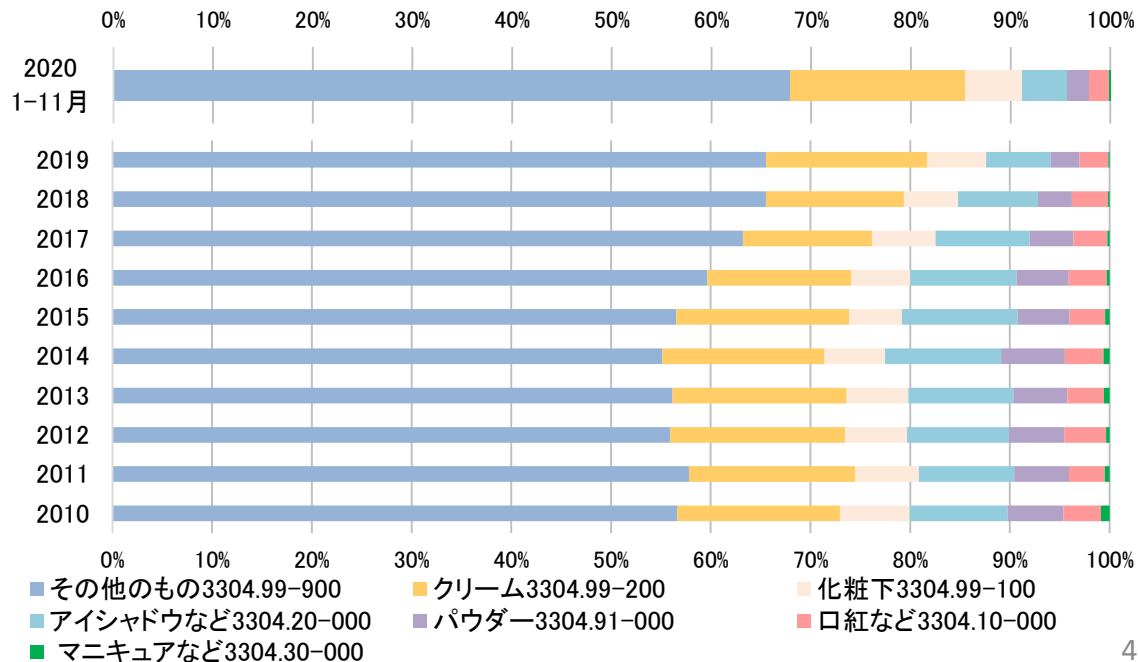
## 品目別の動向

日本から輸出されている化粧品で「その他のもの」の割合が大きい理由については、主な輸出先であるアジア向けの特徴として、メイクアップ用の化粧品よりも基礎化粧品や美白関連の商品のニーズが高いことが背景にあるようです。

2020年のコロナ禍での輸出動向については、業界によると、「クリーム」や「化粧下」などを含めたスキンケア関連の商品の需要は回復傾向にあるとのこと。

アイシャドウやアイライン、リップスティックやリップグロスなどメイクアップ関連の商品は前年との比較で輸出額が減少となりましたが、コロナ禍によるマスクの着用が常態化している中では、マスクに付かない口紅などの商品が増えたとのこと。

## 品目別構成比推移（全国）

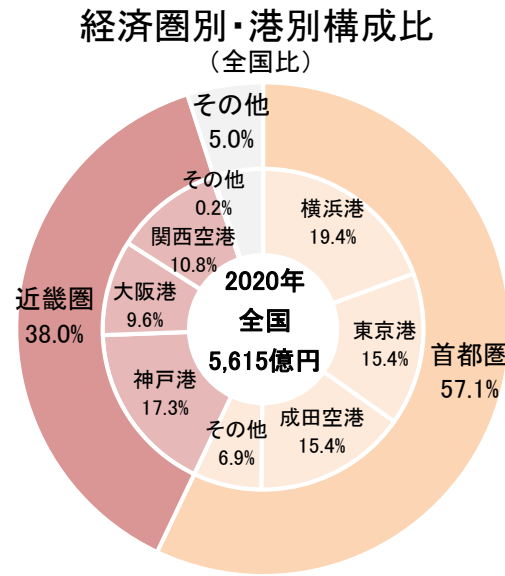


## 経済圏別・港別の動向

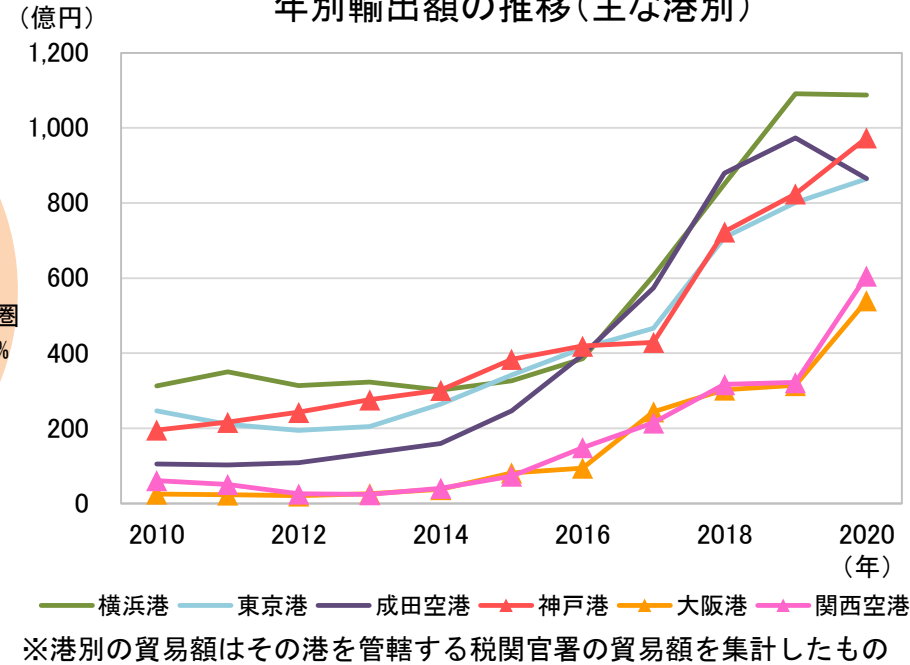
2020年全国で最もシェアが大きいのは横浜港、近畿圏の中で最もシェアが大きいのは神戸港です。

2020年の神戸港からの輸出額は974億円（前年比18.1%増）となり、東京港及び成田空港の同年の貿易額を上回りました。

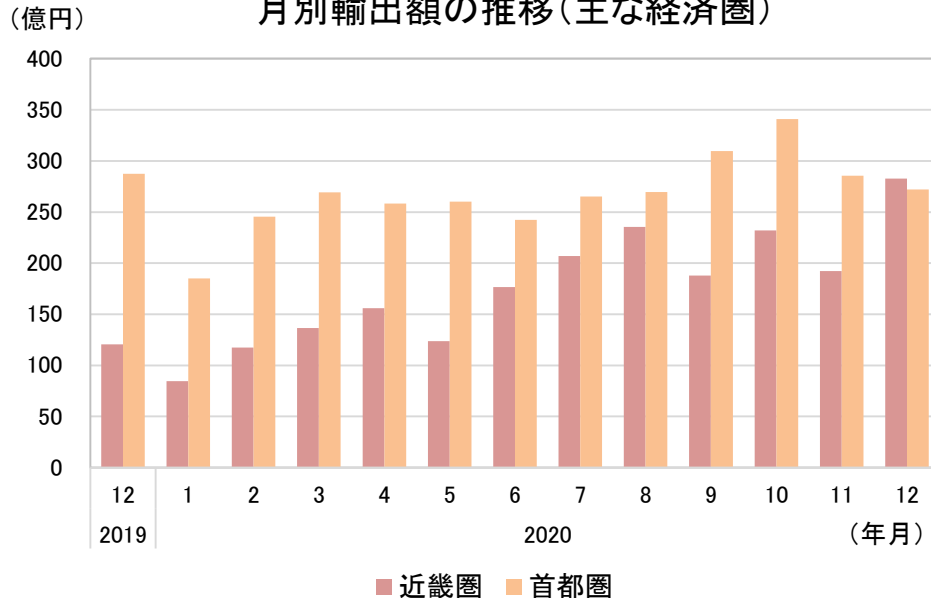
大阪港及び関西空港も2020年は大きく増加、それぞれ540億円（同71.8%増）、606億円（同88.1%増）でした。



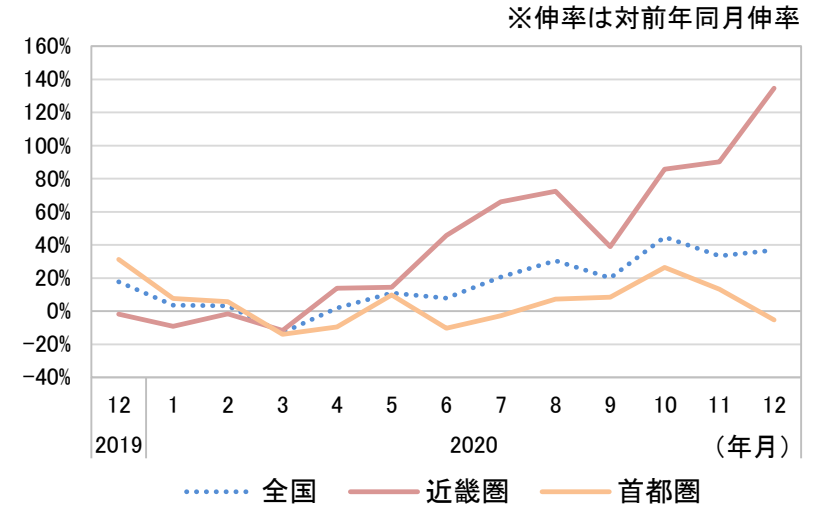
### 年別輸出額の推移(主な港別)



### 月別輸出額の推移(主な経済圏)



### 月別伸率の推移(主な経済圏)



2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、物流の停滞・遅延など様々な影響が発生し、国内ではインバウンド需要が蒸発しました。

しかし、海外市場に向けた化粧品需要は一部の国から回復傾向にあったことがわかり、その要因としてはEコマースによる販売拡大もその1つですが、品質面で信頼性の高い日本製の化粧品に対する強いニーズがあることも大きな要因と考えられます。

業界によると、コロナ禍の中でメイクアップ関連の商品は厳しい環境が続くことを予想しつつも、スキンケア関連の商品に注力していきたいとのこと。



○西欧(Western Europe)の具体的な構成国については、財務省貿易統計ホームページ掲載の統計国名符号表に基づいたものです。  
○品目別の輸出の2020(1-11)は2020年1月～11月の合計です。

・本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課までお願いします(電話06-6966-5385)。  
なお、本資料を他に転載する際は大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

・大阪税関ホームページ  
<https://www.customs.go.jp/osaka/>

輸出推移(年別)

年	全国		近畿圏		首都圏		全国		近畿圏		首都圏	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
1990	4,378	117.2%	974	110.1%	3,195	117.8%	18,104	122.0%	3,335	125.2%	13,794	120.6%
2000	10,211	106.8%	2,491	110.5%	7,253	106.0%	43,727	106.9%	7,911	101.2%	33,711	108.8%
2010	24,348	119.7%	4,987	126.0%	17,849	117.3%	106,460	117.8%	28,427	145.1%	73,207	109.4%
2011	26,276	107.9%	5,793	116.1%	19,072	106.8%	108,452	101.9%	29,598	104.1%	74,268	101.4%
2012	25,014	95.2%	6,098	105.3%	17,384	91.2%	103,080	95.0%	29,455	99.5%	68,654	92.4%
2013	25,725	102.8%	6,738	110.5%	17,201	98.9%	112,146	108.8%	33,097	112.4%	73,485	107.0%
2014	28,436	110.5%	7,791	115.6%	18,397	106.9%	124,300	110.8%	38,535	116.4%	79,939	108.8%
2015	35,991	126.6%	10,741	137.9%	22,508	122.3%	167,549	134.8%	54,666	141.9%	103,892	130.0%
2016	47,545	132.1%	13,558	126.2%	29,946	133.0%	215,152	128.4%	67,565	123.6%	134,908	129.9%
2017	57,947	121.9%	15,226	112.3%	37,845	126.4%	294,024	136.7%	90,766	134.3%	188,291	139.6%
2018	81,523	140.7%	20,757	136.3%	54,567	144.2%	429,884	146.2%	135,895	149.7%	273,572	145.3%
2019	83,585	102.5%	22,950	110.6%	55,925	102.5%	481,495	112.0%	147,632	108.6%	312,862	114.4%
2020	84,631	101.3%	24,129	105.1%	56,092	100.3%	561,485	116.6%	213,201	144.4%	320,415	102.4%

全国仕向地別(2010年) (単位:百万円)

仕向地名	金額	前年比	構成比	2010年比較	
				比	増減額
総計	106,460	117.8%	100.0%		
台湾	23,260	107.6%	21.8%		
韓国	18,517	149.8%	17.4%		
中国	16,361	114.9%	15.4%		
香港	15,956	111.5%	15.0%		
シンガポール	8,090	128.4%	7.6%		
アメリカ	7,066	104.7%	6.6%		
ドイツ	6,998	105.5%	6.6%		
その他	10,213		9.6%		
アジア	86,708	119.4%	81.4%		
北米	7,519	107.9%	7.1%		
西欧	11,188	114.0%	10.5%		

近畿圏仕向地別(2010年) (単位:百万円)

仕向地名	金額	前年比	構成比	2010年比較	
				比	増減額
総計	28,427	145.1%	100.0%		
韓国	10,793	216.0%	38.0%		
台湾	6,883	137.6%	24.2%		
香港	4,213	96.0%	14.8%		
中国	2,040	118.9%	7.2%		
シンガポール	1,799	120.5%	6.3%		
アメリカ	739	124.6%	2.6%		
タイ	459	129.5%	1.6%		
その他	1,500		5.3%		
アジア	26,528	146.0%	93.3%		
北米	786	124.0%	2.8%		
西欧	993	137.4%	3.5%		

全国仕向地別(2020年) (単位:百万円)

仕向地名	金額	前年比	構成比	2010年比較	
				比	増減額
総計	561,485	116.6%	100.0%	5.3倍	455,025
中国	280,999	144.0%	50.0%	17.2倍	264,638
香港	112,169	101.1%	20.0%	7.0倍	96,213
韓国	49,998	108.4%	8.9%	2.7倍	31,481
シンガポール	45,596	107.1%	8.1%	5.6倍	37,506
台湾	26,454	85.4%	4.7%	1.1倍	3,194
アメリカ	13,012	78.9%	2.3%	1.8倍	5,946
ベトナム	8,135	147.9%	1.4%	23.0倍	7,782
その他	25,122		4.5%		
アジア	532,557	119.8%	94.8%	6.1倍	445,849
北米	14,539	82.4%	2.6%	1.9倍	7,020
西欧	11,712	68.2%	2.1%	1.0倍	524

近畿圏仕向地別(2020年) (単位:百万円)

仕向地名	金額	前年比	構成比	2010年比較	
				比	増減額
総計	213,201	144.4%	100.0%	7.5倍	184,774
中国	128,984	171.3%	60.5%	63.2倍	126,944
香港	32,051	117.8%	15.0%	7.6倍	27,838
韓国	23,447	199.9%	11.0%	2.2倍	12,654
台湾	9,723	94.7%	4.6%	1.4倍	2,840
シンガポール	7,467	92.0%	3.5%	4.2倍	5,668
アメリカ	3,015	60.0%	1.4%	4.1倍	2,276
ベトナム	2,552	240.5%	1.2%	38.7倍	2,486
その他	5,961		2.8%		
アジア	207,132	150.4%	97.2%	7.8倍	180,605
北米	3,080	60.4%	1.4%	3.9倍	2,294
西欧	2,165	51.1%	1.0%	2.2倍	1,173



データ集 (続き)

品目別の輸出(2010年～2020年11月まで)

全体 その他のもの 3304.99-900

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	106,460	100.0%
2011	108,452	100.0%
2012	103,080	100.0%
2013	112,146	100.0%
2014	124,300	100.0%
2015	167,549	100.0%
2016	215,152	100.0%
2017	294,024	100.0%
2018	429,884	100.0%
2019	481,495	100.0%
2020(1-11)	503,785	100.0%

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	60,297	56.6%
2011	62,728	57.8%
2012	57,652	55.9%
2013	62,997	56.2%
2014	68,545	55.1%
2015	94,761	56.6%
2016	128,407	59.7%
2017	185,916	63.2%
2018	281,713	65.5%
2019	315,557	65.5%
2020(1-11)	342,112	67.9%

クリーム 3304.99-200

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	17,379	16.3%
2011	18,078	16.7%
2012	18,096	17.6%
2013	19,587	17.5%
2014	20,239	16.3%
2015	29,062	17.3%
2016	31,060	14.4%
2017	37,972	12.9%
2018	59,468	13.8%
2019	77,938	16.2%
2020(1-11)	88,233	17.5%

アイシャドウなど 3304.20-000

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	10,435	9.8%
2011	10,349	9.5%
2012	10,539	10.2%
2013	11,791	10.5%
2014	14,507	11.7%
2015	19,458	11.6%
2016	22,966	10.7%
2017	27,742	9.4%
2018	34,502	8.0%
2019	31,171	6.5%
2020(1-11)	22,654	4.5%

化粧品 3304.99-100

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	7,441	7.0%
2011	6,927	6.4%
2012	6,410	6.2%
2013	6,945	6.2%
2014	7,507	6.0%
2015	8,858	5.3%
2016	12,670	5.9%
2017	18,863	6.4%
2018	23,278	5.4%
2019	28,369	5.9%
2020(1-11)	29,108	5.8%

パウダー 3304.91-000

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	5,994	5.6%
2011	5,968	5.5%
2012	5,701	5.5%
2013	6,099	5.4%
2014	7,922	6.4%
2015	8,680	5.2%
2016	11,225	5.2%
2017	12,869	4.4%
2018	14,682	3.4%
2019	13,968	2.9%
2020(1-11)	11,152	2.2%

口紅など 3304.10-000

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	4,000	3.8%
2011	3,883	3.6%
2012	4,324	4.2%
2013	4,102	3.7%
2014	4,845	3.9%
2015	5,992	3.6%
2016	8,215	3.8%
2017	9,973	3.4%
2018	15,635	3.6%
2019	13,964	2.9%
2020(1-11)	9,933	2.0%

マニキュアなど 3304.30-000

年	金額 (百万円)	金額 構成比
2010	914	0.9%
2011	519	0.5%
2012	356	0.3%
2013	626	0.6%
2014	735	0.6%
2015	737	0.4%
2016	609	0.3%
2017	688	0.2%
2018	605	0.1%
2019	529	0.1%
2020(1-11)	593	0.1%

仕向地別貿易額の推移(全国)

(単位:百万円)

年	中国		香港		シンガポール		韓国		台湾	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
1990	—	全減	2,015	126.3%	1,452	106.5%	516	251.4%	2,776	162.0%
1991	1	全増	1,991	98.8%	1,348	92.8%	637	123.4%	4,045	145.7%
1992	29	5382.3%	2,414	121.2%	1,430	106.1%	774	121.5%	5,360	132.5%
1993	29	99.7%	2,513	104.1%	1,682	117.6%	950	122.8%	5,907	110.2%
1994	48	164.3%	2,798	111.4%	1,589	94.5%	1,473	155.1%	6,827	115.6%
1995	166	347.2%	3,343	119.5%	1,394	87.8%	1,693	114.9%	8,609	126.1%
1996	272	163.5%	3,639	108.9%	1,483	106.4%	2,088	123.3%	9,104	105.8%
1997	246	90.7%	6,888	189.2%	1,644	110.9%	2,338	112.0%	12,572	138.1%
1998	425	172.6%	7,585	110.1%	825	50.2%	1,042	44.6%	13,377	106.4%
1999	373	87.7%	6,967	91.8%	1,107	134.1%	1,677	161.0%	15,756	117.8%
2000	892	239.0%	6,822	97.9%	1,150	103.9%	2,862	170.7%	16,906	107.3%
2001	667	74.7%	7,741	113.5%	1,334	116.0%	4,372	152.7%	14,919	88.2%
2002	473	70.9%	8,187	105.8%	1,464	109.8%	5,872	134.3%	16,290	109.2%
2003	1,868	395.2%	6,820	83.3%	1,673	114.2%	6,992	119.1%	15,901	97.6%
2004	3,533	189.1%	7,835	114.9%	2,800	167.4%	8,421	120.4%	18,529	116.5%
2005	4,571	129.4%	7,647	97.6%	3,785	135.2%	11,621	138.0%	19,042	102.8%
2006	5,228	114.4%	8,058	105.4%	4,001	105.7%	13,125	112.9%	20,188	106.0%
2007	7,113	136.1%	10,664	132.3%	4,742	118.5%	10,918	83.2%	22,586	111.9%
2008	12,550	176.4%	13,320	124.9%	5,859	123.6%	12,763	116.9%	22,826	101.1%
2009	14,236	113.4%	14,311	107.4%	6,301	107.5%	12,359	96.8%	21,615	94.7%
2010	16,361	114.9%	15,956	111.5%	8,090	128.4%	18,517	149.8%	23,260	107.6%
2011	18,987	116.0%	18,144	113.7%	7,614	94.1%	16,080	86.8%	23,909	102.8%
2012	16,763	88.3%	17,571	96.8%	8,699	114.3%	15,683	97.5%	21,878	91.5%
2013	16,652	99.3%	20,243	115.2%	9,928	114.1%	13,994	89.2%	24,402	111.5%
2014	17,923	107.6%	24,300	120.0%	10,807	108.8%	15,263	109.1%	24,503	100.4%
2015	26,857	149.8%	42,071	173.1%	13,112	121.3%	19,317	126.6%	30,829	125.8%
2016	39,388	146.7%	70,264	167.0%	15,727	119.9%	24,540	127.0%	28,478	92.4%
2017	81,004	205.7%	84,614	120.4%	21,369	135.9%	32,366	131.9%	29,850	104.8%
2018	144,102	177.9%	111,373	131.6%	36,161	169.2%	45,823	141.6%	31,830	106.6%
2019	195,134	135.4%	110,986	99.7%	42,578	117.7%	46,130	100.7%	30,983	97.3%
2020	280,999	144.0%	112,169	101.1%	45,596	107.1%	49,998	108.4%	26,454	85.4%

仕向地別貿易額の推移(近畿圏)

(単位:百万円)

年	中国		香港		シンガポール		韓国		台湾	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
1990	—	全減	569	118.5%	385	96.9%	231	222.5%	688	431.6%
1991	1	全増	577	101.3%	342	88.8%	245	106.3%	958	139.2%
1992	1	146.0%	945	163.8%	442	129.3%	309	125.9%	1,097	114.5%
1993	11	1368.6%	923	97.6%	584	132.3%	269	86.9%	1,260	114.9%
1994	6	56.5%	1,308	141.7%	460	78.8%	428	159.3%	1,480	117.5%
1995	15	240.2%	1,589	121.5%	311	67.6%	520	121.6%	2,053	138.7%
1996	47	322.5%	1,656	104.2%	383	123.0%	672	129.2%	1,696	82.6%
1997	24	50.6%	2,355	142.2%	317	82.9%	838	124.6%	2,548	150.3%
1998	41	168.5%	2,488	105.7%	205	64.5%	194	23.1%	2,875	112.8%
1999	25	62.7%	2,376	95.5%	206	100.5%	312	161.1%	3,053	106.2%
2000	45	177.6%	2,338	98.4%	197	95.8%	629	201.7%	2,753	90.2%
2001	78	172.9%	2,779	118.9%	225	114.0%	959	152.5%	2,464	89.5%
2002	178	227.6%	2,990	107.6%	198	87.9%	1,555	162.2%	2,774	112.6%
2003	886	499.1%	2,596	86.8%	425	215.2%	2,383	153.2%	4,149	149.5%
2004	1,585	178.9%	2,656	102.3%	859	201.9%	3,811	159.9%	6,309	152.1%
2005	906	57.2%	1,730	65.2%	1,271	148.0%	5,919	155.3%	5,376	85.2%
2006	1,005	110.9%	1,612	93.2%	1,002	78.9%	5,765	97.4%	4,546	84.6%
2007	609	60.6%	2,399	148.8%	899	89.7%	3,864	67.0%	4,578	100.7%
2008	1,127	185.2%	3,671	153.0%	1,739	193.4%	4,753	123.0%	5,083	111.0%
2009	1,715	152.2%	4,387	119.5%	1,492	85.8%	4,998	105.1%	5,000	98.4%
2010	2,040	118.9%	4,213	96.0%	1,799	120.5%	10,793	216.0%	6,883	137.6%
2011	2,940	144.1%	6,096	144.7%	1,801	100.1%	8,159	75.6%	7,821	113.6%
2012	3,141	106.8%	5,631	92.4%	2,568	142.6%	8,339	102.2%	7,364	94.2%
2013	2,792	88.9%	7,220	128.2%	3,476	135.4%	7,273	87.2%	9,440	128.2%
2014	3,930	140.8%	8,052	111.5%	3,419	98.4%	7,391	101.6%	9,406	99.6%
2015	7,230	183.9%	14,166	175.9%	3,347	97.9%	10,201	138.0%	12,934	137.5%
2016	11,547	159.7%	21,881	154.5%	3,314	99.0%	11,503	112.8%	10,822	83.7%
2017	25,087	217.3%	24,858	113.6%	4,826	145.6%	13,299	115.6%	11,853	109.5%
2018	53,569	213.5%	32,152	129.3%	6,906	143.1%	15,804	118.8%	11,312	95.4%
2019	75,276	140.5%	27,200	84.6%	8,114	117.5%	11,730	74.2%	10,270	90.8%
2020	128,984	171.3%	32,051	117.8%	7,467	92.0%	23,447	199.9%	9,723	94.7%

輸出推移(月別) (単位:百万円)

年	月	全国		近畿圏		首都圏	
		金額	全国 比率	金額	近畿圏 比率	金額	首都圏 比率
2019	12	42,173	17.8%	12,052	-1.8%	28,739	31.2%
2020	1	28,694	3.6%	8,458	-9.2%	18,523	7.7%
	2	37,854	3.2%	11,734	-1.7%	24,542	5.7%
	3	43,005	-13.1%	13,660	-11.6%	26,924	-13.9%
	4	45,053	1.9%	15,583	13.3%	25,829	-9.5%
	5	39,954	10.9%	12,376	14.3%	26,202	9.8%
	6	43,673	7.9%	17,652	45.7%		